

プレスリリース

2017年11月21日
株式会社ジャパントイムズ

ジャパントイムズが、ソニーのデジタルペーパーを用いた実証実験開始 現読者からモニター募集、利便性や課題を検証へ

株式会社ジャパントイムズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：堤文晴）は2018年1月より、ソニーの電子ペーパー端末であるデジタルペーパー「DPT-RP1」を用いた新しい新聞配信サービスの実証実験を開始します。

本実証実験では、日刊英字新聞 The Japan Times の読読デバイスとしてソニーのデジタルペーパー「DPT-RP1」を採用し、読者にとっての利便性や技術的な課題を検証し、The Japan Times の新しい読読スタイルの可能性を探ります。「DPT-RP1」はA4サイズで、軽く、薄く、目が疲れにくく、電子文書を紙のように読み、書き込むこともでき、新聞紙面との親和性が高いものと見られます。本実証実験の協力パートナーであるソニービジネスソリューション株式会社様（本社：東京都港区、代表取締役：宮島和雄）は、本実証実験がデジタルペーパーによる新聞配信サービスの有力活用例となることを期待しています。

実証実験のモニターは、The Japan Times を現在購読中の皆様から募集します。

【モニター募集の概要】

- ・モニター期間：2018年1月から1カ月程度を予定
 - ・応募資格：The Japan Times を現在購読中の方
 - ・募集人数：20名
 - ・モニター受付開始：2017年12月中旬を予定
- ※モニター参加者の方々にはアンケートやグループインタビューにご協力いただく予定です。

■ 詳細はこちら：

<https://form.japantimes.co.jp/sony-digital-paper/>



<ソニーデジタルペーパー「DPT-RP1」の特徴>

- ・パソコンとワイヤレスのデータ同期が可能
- ・A4サイズで読み書きがしやすい（書き込みや保存が可能）
- ・重さ約 349g（世界最薄軽量で持ち運びが容易）
- ・最長 3 週間充電なしで利用可能（利用環境による）



■ 詳細はこちら:

http://www.sony.jp/products/catalog/DPT-RP1_1704.pdf

【ソニービジネスソリューション（株）執行役員常務 田中誠氏からのコメント】

今回のジャパントイムズ様のデジタル購読実験は、軽量かつ長時間使用が可能で、目に優しく紙面が読みやすいという長所を持つデジタルペーパーならではの長所を生かしたものと考えております。この実証実験を通して、新聞のデジタル化がよりユーザーフレンドリーな方向に進められることに、ご期待申し上げます。

<ジャパントイムズについて>

ジャパントイムズは日本で最も歴史のある英字新聞社として、1897年の創業以来、日本と世界の英文ニュースを国内外に発信しています。「世界に開く日本の窓」としての役割を果たすべく、政治、経済、文化、社会、そしてスポーツ記事を通じ日本の現状と世界の動向を報道してきました。世界200カ国以上の方が利用する The Japan Times website は、国内最大級の英文ニュースサイトとして多様で独自性のあるコンテンツを揃えています。

【本件に関する問い合わせ先】

<報道関係者>

経営推進部（福西・佐々木）

E-mail : pr@japantimes.co.jp

TEL : 03-3453-5312（代）

<一般の皆様>

カスタマーサービスデスク

E-mail : jtsales@japantimes.co.jp

TEL : 0120-036-242（平日 10:00-17:00）